

- 1 学 年 中学2年生
- 2 テ ー マ 生物の進化
- 3 時 期 秋
- 4 所要時間 45分
- 5 人 数 30人程度
- 6 活動場所 スタディルームなど
- 7 準 備 骨格標本（爬虫類・鳥類・シソチョウ）、ルーペ
- 8 展 開 例

学習活動及び内容	指導・援助の留意点
<p>1 本時の学習内容を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ハチュウ類、鳥類、シソチョウの骨格を比較し、どんなことがわかるだろうか。</p> </div> <p>2 話し合って予想する。</p> <p>3 それぞれの骨格を観察して、スケッチをする。 (または骨格イラスト3点を見比べて、共通している部分・異なる部分を色分けする)</p> <p>4 観察結果から、学び合い活動をする。 (1) 観察結果から、それぞれの骨格が教えてくれることを話し合う。 (2) それぞれの骨格の共通点を話し合う。 (3) グループ内で意見をまとめる。</p> <p>5 まとめをする。</p>	<p>・シソチョウの標本を提示し、シソチョウについて説明を受け、探究心を高める。(博物館職員)</p> <p>・グループで話し合い活動をもたせ、それぞれの班で、意見をまとめさせる。(担任)</p> <p>・各々の骨格標本を観察し、特徴について話し合いながらスケッチをさせる。(担任・博物館職員)</p> <p>・学び合い活動を通して自分の考えを表現し、また他人の意見を受け入れる。(担任)</p> <p>・まとめをすることによって、それぞれの骨格標本が教えてくれることを明確化していく。(担任)</p>